

2008年6月16日

各位

会社名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 小島 順彦
コード番号 8058
本社所在地 東京都千代田区丸の内
2丁目3番1号
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
竹増貞信 (Tel:03-3210-2104)

サハリンⅡプロジェクト:サハリンエナジー社融資契約調印のお知らせ

本日、サハリンエナジー社(SE社、ガスプロム社/ロイヤルダッチシェル/三井物産/三菱商事の共同出資会社)は、国際協力銀行並びに市中銀行団との間で、ロシア連邦サハリン州沖合におけるサハリンⅡ(第二フェーズ)石油・ガス開発プロジェクトを対象とした、総額53億ドルのプロジェクトファイナンスの融資関連契約に調印しました。

尚、同時に当社は、SE社の他3株主と共に、プロジェクト完工までの保証を差し入れました。

SE社への融資額は、国際協力銀行 総額37億ドル限度、市中銀行団 総額16億ドルを予定しております。サハリンⅡプロジェクトは、液化天然ガス(LNG)を日本、韓国及び北米西海岸向けに供給する予定であり、LNG出荷開始に向けた建設工事の最終段階にあります。SE社は本融資を、主に建設工事並びにプラント試運転等に使用する予定です。

この度のサハリンⅡプロジェクト向け融資契約調印は、本プロジェクトにとって有意義であり、当社はSE社の株主として喜ばしいことと思っております。当社は他株主と共に、SE社が需要家並びに関係するステークホルダーより信頼されるエネルギーサプライヤーとなる様、引続き全力でサハリンエナジー社をサポートして行く所存です。

以上

(別紙) 参考資料「サハリンⅡプロジェクトの概要」

【参考資料】

サハリンⅡプロジェクトの概要

サハリンⅡは世界最大級の石油・ガス複合開発プロジェクトであり、約 40 億バレル相当(石油換算)の資源を有します。

サハリンエナジー社は、サハリンⅡプロジェクト株主の共同出資会社、且つ、オペレーターであり、株主構成は、ガスプロム社 50%+1 株、ロイヤルダッチシェル 27.5%-1 株、三井物産 12.5%、三菱商事 10%となっております。

サハリンⅡプロジェクトは現在、ピーク時日量約 9 万バレルの原油生産能力を有しています。現在、第二フェーズ開発を行っており、建設完了後、日量約 15 万バレル(通年生産)の原油及び年間 960 万トンの液化天然ガス(LNG)を生産する予定です。

この第二フェーズの工事進捗率は現時点で 9 割超となっております。

サハリンⅡプロジェクトの工事内容は、以下の通りです。

- モリクパック・プラットフォーム(PA-A、1999 年以来、第一フェーズ開発として夏季半年間原油を生産)、新たに建設・設置する PA-B 及び Lun-A プラットフォームや総計約 300 キロメートルの海底パイプラインを含む洋上生産設備
- ピルトン・アストフスコエ鉱区及びルンスコエ鉱区からの天然ガス及び原油を処理するための陸上処理設備
- サハリン島南端まで約 800 キロメートルにわたる二本の陸上石油及びガス・パイプライン通年操業可能な原油輸出設備
- ロシア初の LNG プラント及び付随する輸出設備
- 道路、橋、鉄道、港、空港及び病院等のサハリン島内インフラの改良

尚、プロジェクトファイナンスは、主にプロジェクトのキャッシュフローを担保とする融資スキームであり、世界の石油・ガス産業界において一般的に利用されております。サハリンⅡプロジェクトの第一フェーズ開発においても、国際協力銀行は他銀行団と共に融資を実施済みです。

以 上